

山を越えると隣町とは思えないほど気象が変化する場所がある。西日本の「山陰」「山陽」と呼ばれる地域がその関係にあたる。本展覧会は、山陰、山陽を隔てる中国山地の中山間地域に位置する用瀬（鳥取県）、奈義（岡山県）のオルタナティブスペースやギャラリーを展示会場として、4名の作家がそれぞれのスペースに展示する美術展となる。

両地域の実際の状況を長年に渡り観察してみると、気象の違いなどを体感することが出来る。「山陰」「山陽」の表記は端的に両地域の特色を比較表現していると言える。それ故に、「陰陽」を英語に翻訳した「Yin-Yang（イエンヤン）」をそのまま本展覧会のタイトルとした。

だが近年、これらの対比表記（主に山陰）は差別的な負のイメージを含む表現として捉えられている節がある。山陰、山陽に使用されている「陰と陽」の意味は決して善悪で区別するようなものではないし、差別されるようなものでもない。そこに、過剰に問題視する現代社会の病巣を垣間見るような気がしてならない。

本展覧会は、気象や疫病、人間の意識が刻々と変化する中で、国道53号線でつながれた用瀬と奈義の展示会場を歩き来しながら作品や環境を体験し、穏やかかつ過酷な極地より現在の状況や人間の在り方を再考できる機会としたい。また、国道沿いの独創的で意欲的なクラフト、カフェ、レストランにも立ち寄って、見たり買ったり食べたりしながらシンプルに楽しんで頂ければ幸いである。

【イベント】

シンポジウム ～極地の芸術～

入場無料
定員60名

2021年11/28(日) 10:00-11:40

登壇者：藤原一輝(コミュニティデザイン工房・代表)、知念大地(参加作家)、林佑樹(参加作家)

ファシリテーター：藤原勇輝(企画メンバー、参加作家)

会場：流しびなの館ふれあいホール(☎0858-87-3222)

知念大地 地踊り

定員20名
(先着)

2021年11/28(日) 14:00-14:30

会場：用瀬倉庫ギャラリー(地図参照)

*藤原勇輝作品とのコラボレーション

観覧料：2,000円(税込)

チケット購入方法

下記のどちらかの方法でお申し込み下さい。

メール/yinyangartproject@gmail.comまで「代表者の氏名、人数」を記入してご連絡下さい。

お電話/090-7891-3694(藤原)まで



【サテライト企画展示】

TEA ART - Teagarden2021 in Mochigase -

アーティスト：Fujiwara Kazuki

岡山県美作から鳥取県用瀬にヤマチャが自生し、用瀬番茶は美作番茶につながる。

ティーアートは、茶をアイコンとして地域の歴史文化を顕在化させ、その普遍性と美を表現する試みである。陰としての茶畑と陽としてのお茶とは何か。



山陰—山陽 アートの往来

2021年 11/27(土)-12/19(日)

会場：【鳥取県・用瀬】イエロービル、用瀬壁面ギャラリー、用瀬倉庫ギャラリー
【岡山県・奈義】Studio Moim、Gallery FIXA

入場料：寄付型(任意で各展示会場入り口付近のボックスにご寄付ください。)

*クラフト、カフェ、レストランは各店舗の料金体制です。

出品作家：SUJIKO、知念大地、林佑樹、藤原勇輝

【主催】Yin-Yang Art Project実行委員会 【問合せ】yinyangartproject@gmail.com ☎090-7891-3694(担当：藤原) 【HP】https://yinyang-art.jimdofree.com

【協力】とっとりふるさとリーダーアカデミー 【協賛事業者】ねじまき鳥靴工房 バニーリソコ 燕珈琲 山のプラン r.y.designworks カフェカルム

Yin-Yang

イエンヤン

Map

今回の展覧会では、山陰(鳥取)と山陽(岡山)を結ぶ国道53号線沿いにある個性的で意欲的なクラフト、カフェ、レストランもご紹介いたします。作品鑑賞とともにお楽しみ下さい。

- 作品展示会場
- サテライト企画展示会場
- クラフト・カフェ・レストラン(協賛店)

〈サテライト企画〉TEA ART
*別ページに情報記載があります。



自家焙煎 燕珈琲

鳥取県鳥取市用瀬町宮原38-6
□時間 / 10:00-14:00
□営業日 / 木、金のみ
<https://www.tsubameroaster.jp>



創作料理と焼き菓子 山のプラン

鳥取県八頭郡智頭町地師655
□時間 / 11:00-16:00(L.O 15:30)
□定休日 / 火、水
<http://sp.raqmo.com/brun.de.la.montagne/>



② 知念大地 (Studio Moim)

岡山県勝田郡奈義町行方 124-2
□開館 / 土、日
□時間 / 10:00~17:00
お問合せ: studiomoim124@gmail.com

r.y.u.designworks *Studio Moim と併設

□開館 / 土、日
□時間 / 10:00~17:00
<https://ryu.handcrafted.jp>

奈義現代美術館

カフェカラム

③ 林佑樹



山陰 山陽

r.y.u.designworks

② 知念大地

行方郵便局



① SUIKO(用瀬壁画ギャラリー)

鳥取市用瀬町美成 110
□開館時間 / 日の出~日没 □休館日: 無



④ 藤原勇輝(用瀬倉庫ギャラリー)

鳥取市用瀬町美成 49
□開館時間 / 10:00~17:00 □休館日 / 無



イエロービル 総合インフォメーション

1F 各作家小作品 *作品購入できます。

鳥取市用瀬町用瀬 504-1
□開館時間 / 10:00~17:00 □休館日 / 無

2F ねじまき鳥靴工房(靴、革小物)

□時間 / 日、月10:00-17:00 / 木、金13:00-17:00
□営業日 / 日、月、木、金
□定休日 / 土、祝日
火木の終日と木、金の午前中は予約制
<https://www.nejimakidori.com>

2F BunnyLingo (銀、金アクセサリー)

予約制
☎090-7891-3694
info@bunnylingo.com
<https://www.bunnylingo.com>



③ 林佑樹 (Gallery Fixa)

岡山県勝田郡奈義町中島西 39-1
□時間 / 10:00~18:00
□休館 / 月、火
<https://www.gallery-fixa.com>

カフェカラム(カフェ)

*Gallery FIXA と併設
□時間 / 10:00~18:00
□休館 / 月、火

※会場付近に旗がたちますので目印して下さい。

Artists

SUIKO

SUIKO

1979年生まれ 広島市在住
グラフィティの活動によって培われたセンスとセオリーを武器に、世界中に巨大な壁面をインストールする。
近年、音との関わりを通じて空間認識を拡大、身体的な感覚をもってあらゆることの調和を目指している。
本展覧会では、鳥取のそらと大地に挟まれた壁面へのペイントを通して、地球に生きる自分(人間)の立ち位置(バランス)を考える機会にしたいと考えている。

<http://www.suiko1.com>

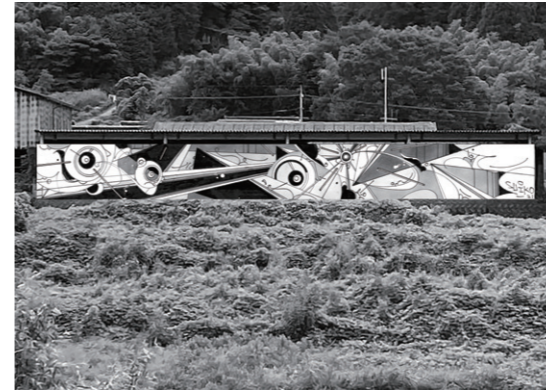


写真:イメージ

①

Chinen Daichi

知念大地

1984年生 豊岡市在住

04年「通行人が少しでも幸せになってほしい」との願いから大道芸人として路上に立ち始める。街や人と向き合う中で、「唯、他者とともに在る」ことが失われつつある現代の危機を察知。彼岸を含めた現在空間の一粒に「他者とともに」ある大道を肉体内部に見いだし、その活動を踊りへと転身した。
本展覧会では藤原勇輝の作品空間と対話し、触れあい、別れ、ともに起立する肉体の明滅を舞う。

<https://chinendaichi.web.fc2.com>



写真:イメージ

②

Hayashi Yuki

林佑樹

1983年生 倉吉市在住

美術家の言葉や、作品の意図、制作過程をドキュメンタリー映像として発表している。今回、撮影対象は「美術家」ではなく「自然」。陰と陽、生と死などをテーマに、映像とドキュメンタリー写真として出品予定。

<https://www.yuki49.com>



写真:イメージ

③

Fujiwara Yuki

藤原勇輝

1976年生 鳥取市在住

極東アジアをテーマに立体や映像、参加型プロジェクトなど多岐にわたる手法を用いて社会性のある作品を発表している。現在、日本と済州島(韓国)の関係性をテーマとしたプロジェクトを計画中。

本展覧会では大型の立体インスタレーション作品を出品予定。

<https://www.yukifujiwara.jp>



写真:イメージ

④